第11回
東京農工大学総合情報メディアセンター
シンポジウム2014

大学のグローバル化と図書館における
情報リテラシー メディアリテラシー教育

資料集

東京農工大学　図書館･総合情報メディアセンター共催

はじめに

科学技術・学術審議会の学術情報基盤作業部会は平成22年12月に「大学図書館の整備について（審議のまとめ）-変革する大学にあって求められる大学図書館像-」をとりまとめ、その中では、大学図書館に求められる機能・役割の第一に「学習支援及び教育活動への直接の関与」が挙げられている。具体的に示されているのはラーニングコモンズ、レファレンスサービス、情報リテラシー教育などがある。

このような方向に沿った取り組みとして最も注目されているのがラーニングコモンズであり、公立はこだて未来大学、国際基督教大学やお茶の水女子大学などの取り組みに続き、次第に広がりを見せつつある。しかしながら、多くの場合、ハード面の整備だけが先行し、機能やコンテンツなどのソフト面が追い付いていないとの指摘も多くあるのが現状である。

一方、大学のグローバル化に伴い、情報リテラシー教育やアカデミックスキル育成に対するニーズも大きくなっている。こういった中、メディアリテラシーの観点から、大学図書館におけるアクティブラーニングスタジオを活用し、1)学生自らがインタビュープランをたて、2)街にでて取材を行い、3)コンテンツを執筆・撮影・編集し、4)iPad・iPhoneで閲覧可能なインタビュー雑誌を開発・配信するなどの試みも進められている。

本シンポジウムではラーニングコモンズ、情報リテラシー、メディアリテラシー、アカデミックスキルをキーワードに、取り組みの実例を紹介していただき、図書館の活用などについての議論を進めたい。

共催●東京農工大学図書館、総合情報メディアセンター
日時●2014年11月28日(金)14:00-17:05
場所●東京農工大学 小金井キャンパス(JR中央線東小金井駅下車 徒歩10分)
　　140周年記念会館（エリプス）3階　多目的ホール
参加●参加費無料、情報交換会参加費用：2000円

テーマ●大学のグローバル化と図書館における情報リテラシーメディア
　　リテラシー教育

もくじ

2014年11月28日（金）東京農工大学総合メディアセンターシンポジウム

ラーニング・コモンズとこれからの大学図書館

東京外国語大学学術情報課長　茂出木 理子（modeki_riko@tufs.ac.jp）　Twitter @modekiriko

略歴：東京大学理学部、東京大学総合図書館、学術情報センター、東京大学情報基盤センター、国立情報学研究所、お茶の水女子大学図書・情報課長、東京大学教養学部等図書課長の勤務を経て、平成25年4月から現職。

・ 茂出木理子. ラーニング・コモンズの可能性－魅力ある学習空間へのお茶の水女子大学のチャレンジ—. 情報の科学と技術. 2008, vol.58, no.7, p.341-346
  茂出木理子. 学習と図書館改革. IDE現代の高等教育. 2009, No.510, p.27-32

■ラーニング・コモンズの辞書的定義

　複数の学生が集まって、電子情報も印刷物も含めた様々な情報資源から得られる情報を用いて議論を進めていく学習スタイルを可能にする「場」を提供するもの。（平成25年8月　科学技術・学術審議会学術分科会学術情報委員会「学修環境充実のための学術情報基盤の整備について（審議まとめ）」から）

■ラーニング・コモンズを構成するもの　これを揃えればいいのか？

　机も椅子も可動式（机は雲形、椅子はカラフル）、フラットで広い床、ICT環境、貸出PC、クリッカー、スクリーン、プロジェクタ、ホワイトボード、人的サポート（学生アシスタント）、コンテンツ（図書館資料？）

■なぜ、ラーニング・コモンズを造るのか

1）学習成果の重視
2）教育・学習の見える化

■図書館にラーニング・コモンズを設置する意味

　図書館に設置するアドバンテージ／ディスアドバンテージ

■MOOCsの登場とラーニング・コモンズ

■なんちゃってラーニング・コモンズにならないために

　主役（主語）を間違えない／目的を間違えない

■私が心に刻むラーニング・コモンズに関する言葉、そして実例

- Scott Bennett「The key, then, is to replace our typical first question about what should be in a space with the less typical question, **what should happen in the space.**」Journal of academic librarianship, 2008 34(3) p.183-185
- Lisa Hinchliffe「More than Ability- **Habit and Inclination**. That is what I want for my students-for them to become habitual askers of questions, seekers of new knowledge, critical thinkers, and informed decision makers.」Research Strategies, 2001 8(2) p.95-96
- 井上真琴（同志社大学学習支援・教育開発センター事務長）「施設や設備の先行投資ではなく、新たな**高等教育を開拓する「思想」、「理念」の先行投資**として、ラーニング・コモンズを作る。」IDE. 2013, no.556. p.17-22

今回、特に参考にした文献リスト

1. ノエル・エントウィスル著; 山口栄一訳. 学生の理解を重視する大学授業. 玉川大学出版部. 2010 (ISBN:978-4472404191)
2. ジョンソン,D.W., ジョンソン,R.T., ホルベック,E.J.著; 石田裕久, 梅原巳代子訳. 学習の輪, 二瓶社 2010. 改訂新版（ISBN:978-4861080579）
3. 境敦史, 曾我重司, 小松英海著. ギブソン心理学の核心. 勁草書房. 2002 (ISBN:4326-153644)
4. 山内祐平. 大学における学習の変化とラーニングコモンズの未来. 大学図書館研究. 2014, no.100. p.48-52
5. 山田政寛. 基調講演 新たな学びの空間 ラーニングコモンズ（アカデミックコモンズシンポジウム/第4回高等教育推進センターFD講演会 アカデミックコモンズから始まる学びの再発見). 関西学院大学高等教育研究. 2014, no.4. p.117-126
6. 船守美穂. MOOCと図書館:デジタル化時代における大学と図書館に寄せて. Lisn. 2014, no.160. p.1-6
7. 山田恒夫. MOOCとは何か:ポストMOOCを見据えた次世代プラットフォームの課題. 情報管理. 2014, vol.57, no.6. p.367-375
8. 井上真琴. ラーニング・コモンズの理念と目的を探して:同志社大学の経験から. IDE. 2013, no.556. p.17-22
9. 中井孝幸. 利用行動からみた「場」としての図書館に求められる建築的な役割. 情報の科学と技術. 2013, vol.63, no.6. p.228-234
10. 長澤多代. 主体的な学びを支える大学図書館の学修・教育支援機能:ラーニングコモンズと情報リテラシー教育を中心に. 京都大学高等教育研究. 2013, no.19. p.99-110
11. 米澤誠. アフォーダンスとしてのラーニング・コモンズ試論. 東北大学附属図書館調査研究室年報. 2012, no.1. p.43-45
12. 永田治樹. 図書館とインフォメーション・コモンズ. 情報管理. 2010, vol.53, no.7. p.370-380

以上

第11回東京農工大学総合情報メディアセンターシンポジウム

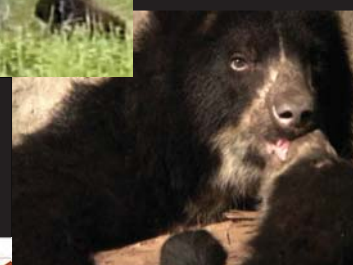
2014/11/28

北海道大学CoSTEPの取り組み

映像表現とコミュニケーション

北海道大学 高等教育推進機構
CoSTEP 特任講師　早岡 英介

プロフィール

- 修士課程修了後，新聞社に勤務
- 1997〜2008年まで科学番組の制作会社でディレクター
- 自然･アウトドア番組が多かったため，若干の撮影技術を習得
- デジタル技術に関心があり初期からノンリニア編集に取り組む

※参照
「フィールド・ノート TV番組制作の中で見つけた科学技術コミュニケーションの芽」
科学技術コミュニケーション 第5号 165-178p　2009年3月

CoSTEP（コーステップ）の概要

2005-2009

文部科学省 科学技術振興調整費による新興分野人材養成
科学技術コミュニケーター養成ユニット。
類似のプログラムが東大と早稲田にも同時期にスタート

2010-2014

北大自主財源による運営
科学技術コミュニケーター養成プログラム

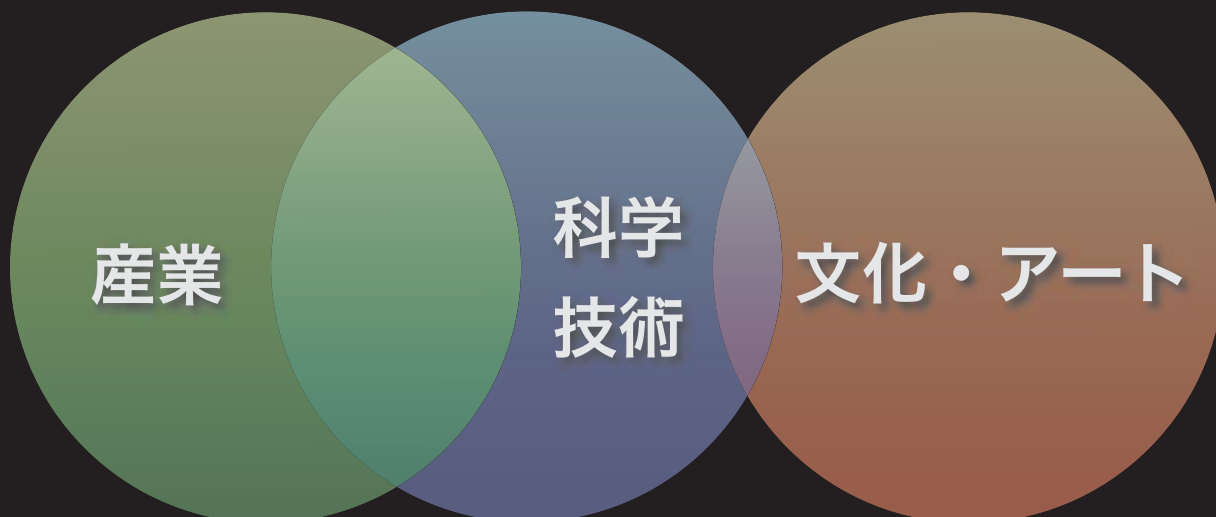
これまでの修了生

これまで550名以上。社会人が約半数。JST，理研，産総研，北大URAなど研究機関だけでなく 毎日新聞社，朝日新聞社，Newtonなどメディア関連に就職した修了生多数

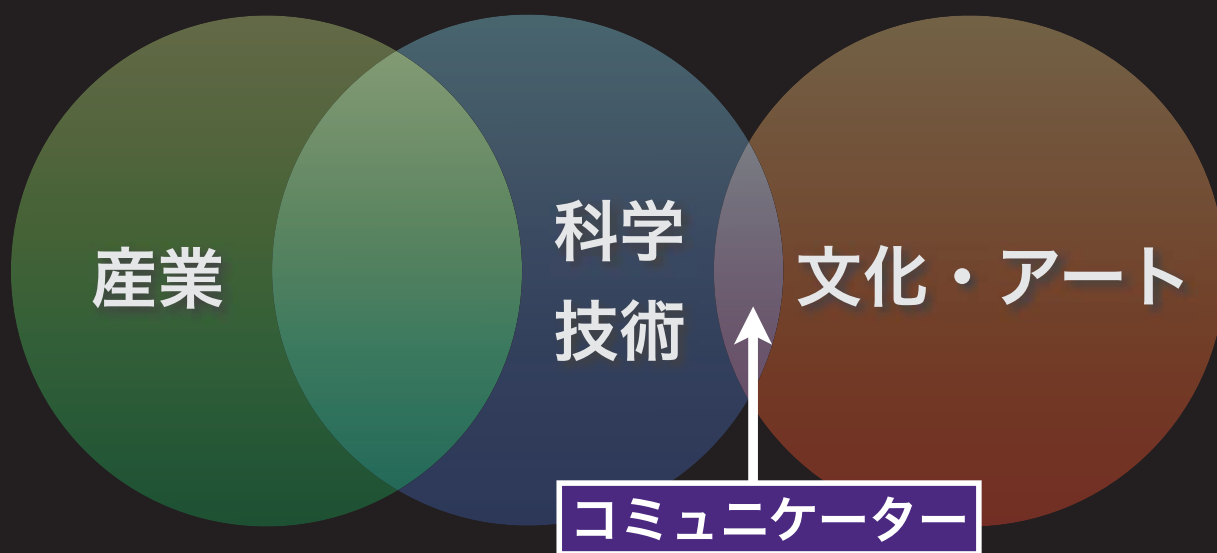
※2015年度より 北大オープンエデュケーションセンター に統合予定

科学技術を文化に

「芸術の世界では価値評価ができるコミュニケーターが昔からいた。
科学でもそういう人が増えれば，産業の道具でなく文化の一部になる。
だが，科学者がそれをやっちゃうと，二流，三流になっちゃう。
科学を文化にする橋渡しができる人がほしい。日本ではそれが足りない」

『科学する文化』広中平祐 東京大学出版会 1995年

科学技術を文化に

「芸術の世界では価値評価ができるコミュニケーターが昔からいた。
科学でもそういう人が増えれば，産業の道具でなく文化の一部になる。
だが，科学者がそれをやっちゃうと，二流，三流になっちゃう。
科学を文化にする橋渡しができる人がほしい。日本ではそれが足りない」

『科学する文化』広中平祐 東京大学出版会 1995年

教育プログラム

本科

水曜夜（演習）と土曜午後（講義と実習）に北大に通って本格的に学ぶ.
大学院生が２／３（学部生が数名）
残り社会人は北大職員，道職員等.
2014年度は計28名.

選科

遠隔地でもe-learningで受講可.
夏と秋のスクーリング（2泊3日の演習．A,Bどちらかを選択）が必須．実習は無し．学生が１／３．他大学・研究機関の職員等社会人が多い．今年度は計50名.

CoSTEP実習の概要

本科のみ　年間26コマ．土曜15時〜17時まで

冊子やWebサイト，チラシ制作，サイエンスイベント企画実施，映像コンテンツやラジオ番組の制作。実践を通した学び

- ライティング・編集実習
- 音声・映像制作実習
- グラフィックデザイン実習
- 対話の場の創造実習

CoSTEP実習の概要

本科のみ　年間26コマ．土曜15時〜17時まで

冊子やWebサイト，チラシ制作，サイエンスイベント企画実施，映像コンテンツやラジオ番組の制作。実践を通した学び

- ライティング・編集実習
- 音声・映像制作実習
- グラフィックデザイン実習
- 対話の場の創造実習

・音声・映像制作実習

ソフト優位の時代

- Skype, Kindle, iTunes, Google Map
- アイデア勝負。コストが（ハードほど）かからない
- ライフスタイルの提案やデザインも含め考える時代

GoPro

ドローン
Phantom 2

インターバル撮影
レコーダ「レコロ」

人にしかできないこと

- 状況を判断すること
- 文脈を理解すること
- 受け手の心理を読むこと
- 創造的に表現すること
- 物語を作ること

人にしかできないこと

- 状況を判断すること
- 文脈を理解すること
- 受け手の心理を読むこと
- 創造的に表現すること
- 物語を作ること

映像の“読み書き”＝21世紀のリテラシー

どのような映像コンテンツを作っているか

どのような映像コンテンツを作っているか

1．大学広報及び科学コミュニケーションに寄与するもの

学内行事（サステナビリティウィーク等）のイベントで上映,
留学生，海外拠点紹介，研究室，研究者の紹介ビデオ

どのような映像コンテンツを作っているか

1．大学広報及び科学コミュニケーションに寄与するもの

学内行事（サステナビリティウィーク等）のイベントで上映，
留学生，海外拠点紹介，研究室，研究者の紹介ビデオ

2．受講生の企画・発案によるもの

芝居の入ったフィクション，実験アート，特殊撮影，実験的な教材

どのような映像コンテンツを作っているか

1．大学広報及び科学コミュニケーションに寄与するもの

学内行事（サステナビリティウィーク等）のイベントで上映，
留学生，海外拠点紹介，研究室，研究者の紹介ビデオ

2．受講生の企画・発案によるもの

芝居の入ったフィクション，実験アート，特殊撮影，実験的な教材

3．他のイベントや活動と連動したもの

サイエンス・カフェでの上映，学会の市民講座のPR,報告ビデオ

どのような映像コンテンツを作っているか

1．大学広報及び科学コミュニケーションに寄与するもの

学内行事（サステナビリティウィーク等）のイベントで上映,
留学生，海外拠点紹介，研究室，研究者の紹介ビデオ

2．受講生の企画・発案によるもの

芝居の入ったフィクション，実験アート，特殊撮影，実験的な教材

3．他のイベントや活動と連動したもの

サイエンス・カフェでの上映，学会の市民講座のPR,報告ビデオ

4．授業やワークショップの成果物

学部授業「北海道大学の今を知る」大学院授業「大学院生のための
セルフプロモーション２」

1．大学広報及び科学コミュニケーションに寄与するもの

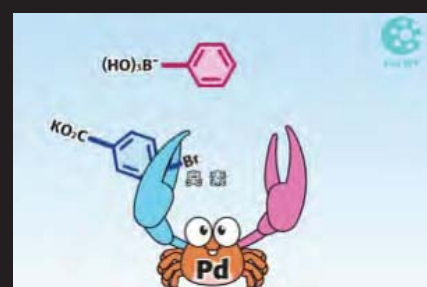
1）女性研究者 後藤理恵さん-子育てと研究の両立-（4:40）椎名春樹さん（4期生）2008

2）バイオインフォマティクス-生命進化の謎に迫る-（7:30）吉川優紀さん（4期生）2008

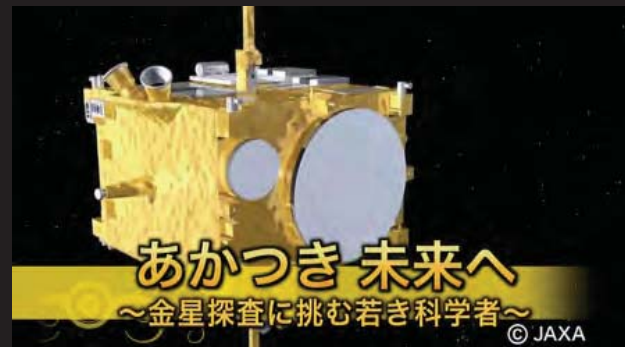
3）デザインワークショップ（7:15）齋藤亮介さん 1月7日（4期生）2008

4）有機合成か変えた世界～化学のフロンティアを切り拓く
鈴木章・北海道大学名誉教授（12:27）

5）2010年ノーベル化学賞受賞 鈴木章 北海道大学名誉教授のあゆみ（3:14）

6）鈴木-宮浦クロスカップリング実験（4:23）CoSTEP 6期生メンバー＋スタッフ 2010

7）潜入！人獣共通感染症リサーチセンター（6:30）太平佳菜さん（6期生）2010

8）あかつき未来へ～金星探査に挑む若き科学者（13:48）石井伸彦さん（6期生）2010

9）世界に羽ばたけ！コンポストトイレ（2:41）田中加奈子さん（7期生）2011

10）北大の四季を定点観測「Colors of HOKUDAI for a year」（3:08）
森安悟さん（研修科）2012

11）北大豆知識 vol.1 ～北大キャンパス南から北まで走ると何分？～（3:33）
森安悟さん（研修科）2012

12）Experience in Hokkaido University ~3本（3:00）重田光雄さん（9期生）2013

13)水環境から未来を考える～流域保全管理学・根岸淳二郎 研究室 紹介ビデオ～（7:57）
前田恭幸さん（9期生）2013

14)疫学でえがくみんなの未来 北海道大学 環境健康科学研究教育センター（10:00）
武島直美さん（10期生）2014

15）Discover Nature at Hokkaido University（5:32）
CoSTEP 9期生＋スタッフ 2013

16）Head for the Frontiers（6:04）CoSTEP 9期生＋スタッフ 2013

17）HOKUDAI ONLY ONE！（全28本）CoSTEP５期生＋スタッフ 2009

2．受講生の企画・発案によるもの

18）ゆきむしを見たことがありますか？（8:14）
江口潤さん，岸浪典子さん，郡伸子さん，手皮直樹さん，村上恵さん（3期生）2007

19）インドネシア調査（9:58）島畑淳史さん（5期生）2009

20）次はあなたかも知れない 身近に迫る情報漏洩の恐ろしさ（6:18）
小山牧子さん（5期生）2009

21）Glacier Field Course in the Swiss Alps（8:14）中山佳洋さん（5期生）2009

22）触媒化学の歴史を辿る　堀内寿郎の生涯（7:00）武田増満さん（5期生）2009

23）北海道大学を空撮　Hokkaido University Genki Project（2:32）
映像表現実習メンバー（5期生）2009

24）理系女子取扱説明書（9:18）山﨑舞さん（7期生）2011

25）Handmade Crystal Tree（2:41）山﨑舞さん（7期生）2011

26）博士の奇妙な実験 ～消えた！？メチレンブルーの不思議～（4:01）
山﨑舞さん（7期生）2011

27）たべるからうまれるまで（6:38）村中令さん（9期生）2013

3．他のイベントや活動と連動したもの

28）科学を伝えるって難しい？サイエンスカフェ奮闘記（10:00）
山口章江さん（6期生）2010

29）くすりよ届け ナノサイズ船 細胞の宇宙を行く（10:55）
森安悟さん（7期生）2011

30）NHK番組「すイエんサー ～北海道大学からの挑戦状！～」告知ビデオ（2:00）
小四郎丸拓馬さん, 巽ゆかりさん,谷内秀久さん, 山﨑舞さん, 森安悟さん
（8期生＋研修科・サイエンスメディア実習メンバー）2012

4．授業やワークショップの成果物

31）学部１年生向け授業「北海道大学の今を知る」2009-2014

32）大学院授業「セルフプロモーション２（科学技術コミュニケーション特論２）」 2009-2014

33）留学生向け授業「北海道大学をもっと知ろう」2010-2013

34）「研究者をめざす高校生のためのインターンシップ」2011-2014

技術は短期間で廃れるが，
生み出された物語は何十年，
何百年と受け継がれていく．

私がしたいのは性能の良い
コンピューターを作ること
ではない．
コンピューターを使って感動を
巻き起こすことなのだ．

『Time』誌 Steve Jobs 1999

Adoberツールの活用とメディアリテラシー教育

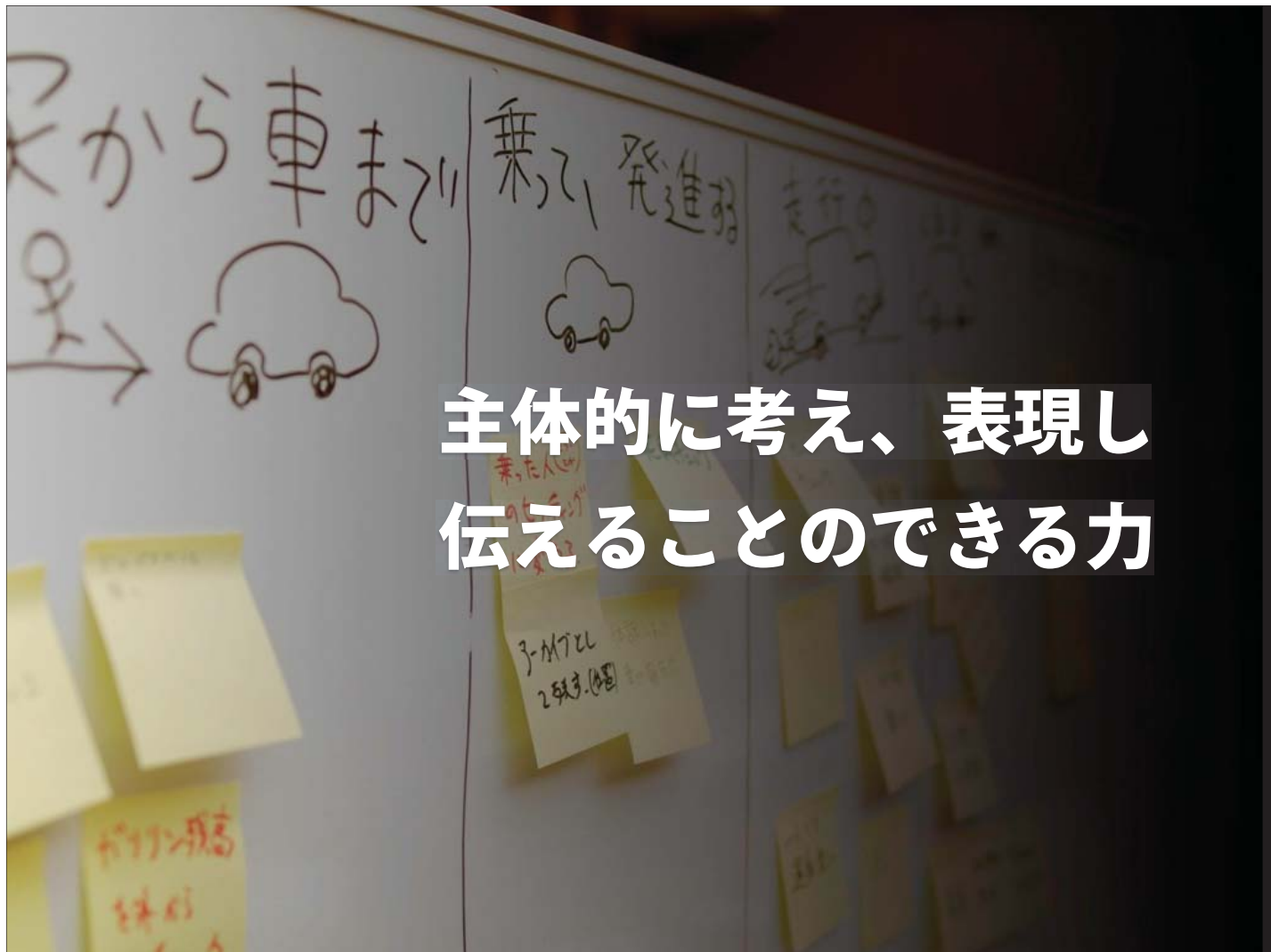
吉崎誠多 | アドビシステムズ株式会社 エデュケーションエバンジェリスト

内容

- Adobeと教育
- 各アプリケーションの役割
- 活用事例
- これからのコンテンツ制作

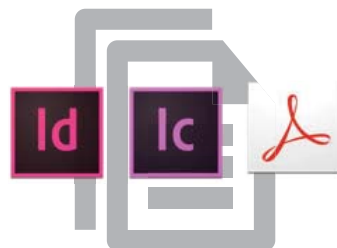
Adobeと教育

デジタルコンテンツ制作の
デファクトスタンダード

教育に活用

主体的に考え、表現し
伝えることのできる力

創造性を育む教育環境

各アプリケーションの役割

グラフィック

ドキュメント

ビデオ

ウェブ

グラフィック

素材作成

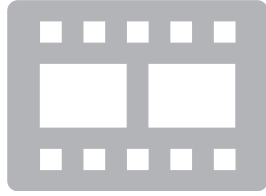
ポスター

フライヤー

ドキュメント

論文・資料集

パンフレット

電子書籍

ビデオ

ショートムービー

学術映像

講義映像

ウェブ

研究室サイト

ポートフォリオ

eコマース

プレゼンテーション

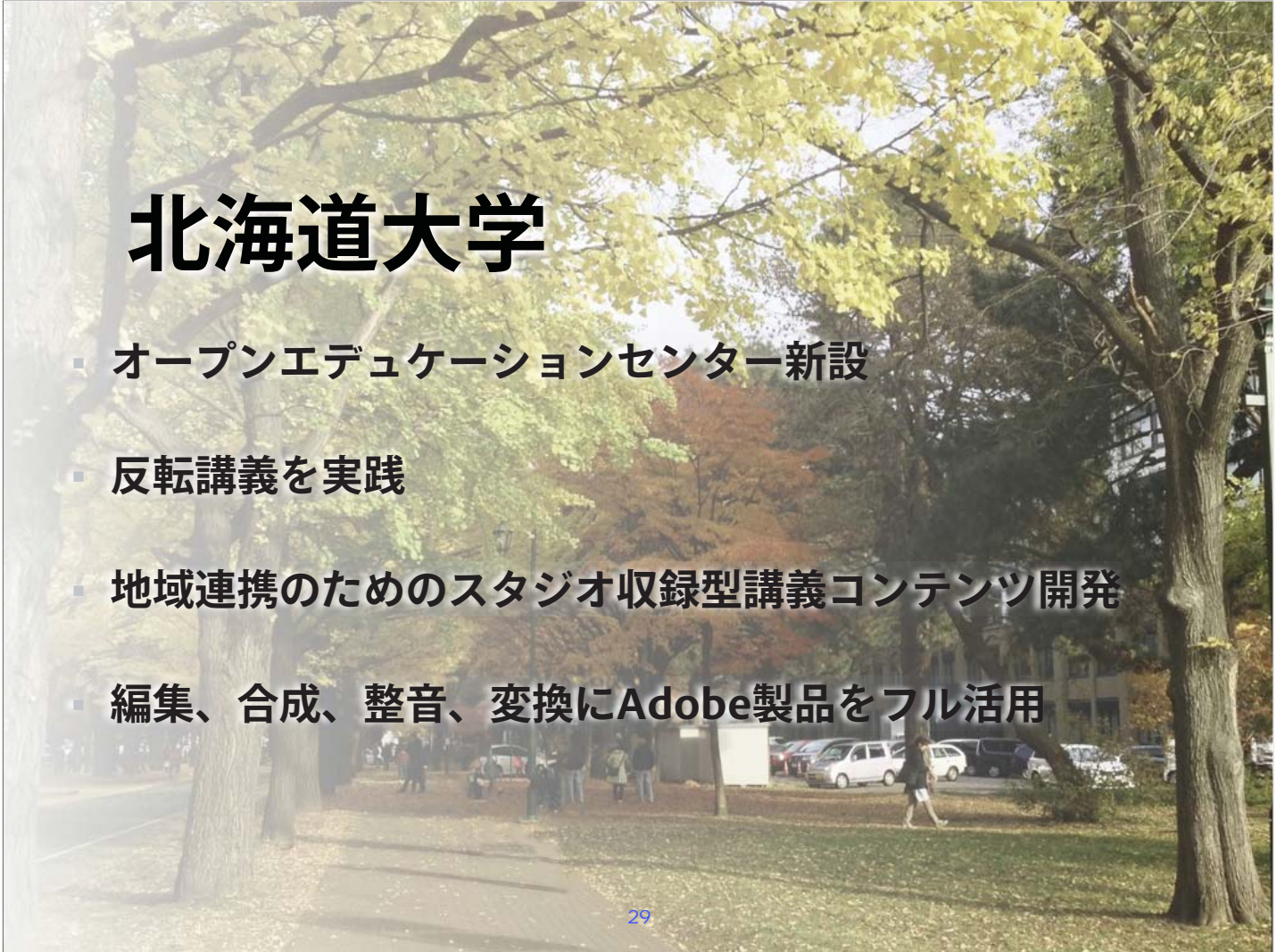
画像編集
イラスト・グラフ
ビデオ編集
アニメーション
Ps
Photoshop
Ai
Illustrator
Pr
Premiere Pro
Ae
After Effects
Microsoft
Power Point
Apple
Keynote

関西大学

- 総合情報学部　Photoshop講座必修化
- 学生にCreative Cloud貸与
- ポスター、ムービーコンテスト開催

筑波大学

- アドビ製品を共通言語にしたクリエイティブメディアラボ
- プログラマーとデザイナーの融合領域
- デザインの意味や価値を自分で判断して動けるエンジニア
- 他の専門家とアイデア交換するコミュニケーション能力

関西学院大学

- PC教室を改装してクリエイティブワーク用演習室に
- グループワークに最適化
- グラフィックス、ビデオ、音楽などパートごとに学び合い
- 各界のプロや卒業生が技術指導

大阪大学

- 大学院リーディングプログラム採択、グローバル人材育成
- 研究のアウトリーチ（論文、ポスター、プレゼン）におけるクリエイティビティの重要性
- インフォグラフィックスを学ぶことで表現力を向上

北海道大学

- オープンエデュケーションセンター新設
- 反転講義を実践
- 地域連携のためのスタジオ収録型講義コンテンツ開発
- 編集、合成、整音、変換にAdobe製品をフル活用

アドビ システムズ 株式会社
141-0032 品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー 19F

奈良県

奈良県教育委員会、全県立学校の ICT 教育環境整備に Adobe Creative Cloud エンタープライズ版を採用

次世代を担う高校生の情報の創造・発信力の育成に活用

【2014 年9 月25 日】
アドビ システムズ 株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：佐分利 ユージン 以下 アドビ）は、奈良県に、教員・生徒のICT利活用のための教育環境整備の一環として Adobe Creative Cloudエンタープライズ版が採用されたことを発表しました。これは、教育機関向け包括ライセンス契約※1による、日本で初めての教育委員会と県内すべての県立学校が対象となる契約です。

奈良県教育委員会が、アドビのCreative Cloudエンタープライズ版の採用を決めた要因として、以下の項目があげられます。

今までにないICT環境の整備
さまざまなデジタルコンテンツやアプリケーションを制作するために、世界の第一線で活躍しているクリエイターが利用しているアドビのCreative Cloudを、授業、学校行事、部活動等のあらゆる教育活動を通していつでも使えるようにすることで、授業改善を図って教員の授業力向上につなげたり、生徒の創造力を刺激し、個々の能力を伸ばし、課題に取り組もうとする関心、意欲を高めたりできる今までにないＩＣＴ環境が整い、学力の伸長が期待できること。

即戦力としてのスキルやコミュニティーや地域への将来的な貢献
実社会の業務で使用されている本物のアプリケーションを、早い時期から活用することで、大学や専門学校等の進学先での利用や、就職先で即戦力として仕事をする力を身に付け、コミュニティーや地域への将来的な貢献が期待されること。

Adobe Education Exchange

Welcome to
Adobe Education Exchange
Start exploring now
Find and share resources
Connect with your peers
Start a discussion or offer your expertise
Begin a professional development workshop

Resources
6,805 resources
271 resources added recently.

Community
164,175 members
19,703 recently active members.

Discussions
718 discussions
72 new discussions recently active.

Adobe Education Exchange

これからのコンテンツ制作

急速な技術・社会の変化

爆発的なモバイルの普及

全てが繋がる世界

モバイル

コミュニティ

クリエイティブ
プロファイル

デスクトップ

アセット

マーケット

参考URL

教育

www.adobe.com/jp/education

Adobe Education Exchange（英語）

edex.adobe.com

各種映像コンテンツ

www.youtube.com/user/AdobeCreativeStation

外国人留学生を対象としたメディアリテラシー教育の取り組み

ー AIMSプログラムにおける情報リテラシー講義としてー

ASEAN発、環境に配慮した食料供給・技術革新・地域づくりを担う次世代人材育成
H25年度文部科学省「大学の世界展開力強化事業～海外との戦略的高等教育連携支援～」採択事業

東京農工大学、茨城大学、首都大学東京の知を結集し、農業・工業・食料科学・地域づくりをテーマに、これらの諸課題にアプローチする協働教育を、ASEAN諸国の大学(AIMS参加大学)とともに実施。

また、協働教育と学生相互のサポートを通じて、教育研究のグローバル化と学生・教職員のモビリティの活性化を図り、ASEANにおける開発・成長、自然と人間社会の共存を図るためのプラットフォームを構築し、環境に配慮できるグローバル人材を育成。

H26年度：16人程度(以降、順次増加)

【求める人材像】

・ASEANの諸課題の背景を十分理解し、解決方法を提案できる思考力と説得力を持ち、解決するための強い意思と実行力を備えた人材を育成。

・国際的に通用する理工系の専門知識と技術を用いた調査力、企画立案力、研究力、技術力、コンサルタント力などの複数の専門性を有する人材を育成。

・学生同士の相互のサポート関係を構築(バディを形成)することで、プログラム終了後も継続した情報交換を行う学生間のネットワークを構築。日本とASEANの架け橋となりうる人材を育成。

1

東京農工大学総合情報メディアセンター
辻澤　隆彦・林　一雅

1. 授業シラバス

(世界展開力強化事業)科目シラバス

Course Name	ICT Literacy and Content Creation workshop
Instructor Name	Takahiko TSUJISAWA,　Kazumasa　HAYASHI
Office Hours and Contact Information	t-taka@cc.tuat.ac.jp　hayashi@cc.tuat.ac.jp
Course Number	
Course Structure [授業形態]	Lecture
Term, Meeting Days, Time and Location	2014/9/22　8:45-16:15 Building 8　K3D
Course Credits	
Course Overview	Many kind of interactive media have been available in our life by the advance of ICT. In such a circumstance, media literacy must be studied in order to use the ICT technology properly. In this course, a content production for the interactive media is performed through practical operations by a group study. Japanese some cultural topics are introduced as a discussion theme in a group study of the course.
Course Key Words	ICT Literacy, Content Creation, Message in Students Life at Japan
Academic Goal	Content Creation for Web and Making Message Video on Internet such as YouTube.
Course Schedule	8:45-10:15 Orientation ICT Technology useful to our society Japanese cultural topics as a discussion theme are introduced. 10:30-12:00 Preproduction Group Discussion based on Japanese cultural topics 13:00-14:30 Content Production Group discussion based on a selected topic Planning : Object, Target of receiver and Scenario Material Collecting and Editing by Apple iPad 14:46-16:15 Presentation and Peer Review
Textbooks, References, and Supplementary Materials	None
Grading Philosophy (Percentage / Criteria / Methodology)	Attendance and the End Product

2. 受講者

Group	Participant	Field
Group1 Indonesia	**Ms. (IPB) Mr. (IPB) Ms. (IPB)**	**Food Science & Technology Agronomy & Horticulture Landscape Architecture**
Group2 Indonesia	Mr. (IPB) Mr. (IPB) Mr. (IPB)	Agricultural Engineering and Technology Agricultural Engineering and Technology Agricultural Engineering and Technology
Groop3 Indonesia	Ms. (UGM) Ms. (UGM) Ms. (UGM)	Agriculture Agriculture Agriculture
Group4 Malaysia	Mr. (UPM) Mr. (UPM) Mr. (MJIIT)	Agricultural Science Agricultural Science Mechanical Precision Engineering
Group5 Malaysia	Ms. (UTM) Ms. (UTM) Ms. (UTM)	Built Environment Geoinformaiton and Real Estate Geoinformaiton and Real Estate
Group6 Thailand	Ms. (KU) Ms. (KU)	Tropical Agricultural International Program Tropical Agricultural International Program

受講者内訳　農学系13（TUAT5　IU8）　工学系4（TUAT1 TMU3）
来日者数：35（農学系19 工学系16）

3. コースの狙いと事前の検討

<u>狙い</u>

・情報リテラシー教育に積極的に参加させること
・映像メディア開発を情報リテラシー教育として実施すること
・日本を代表するコンテンツに関して、映像メディア作成を通して学ばせること

<u>事前検討及び準備</u>

・学生スキルに関しては事前に把握していない
・4コマ内で完結する

➢ Apple iPad Air 内に閉じた実習とする
iMovie或いはadobevoiceの利用を前提とする
➢ 留学生がディスカッションできるテーマを事前に用意する
Godzilla/omotenashi/TA-Q-BIN/TSUKIJI Market
➢ 共有Dropbox内にあらかじめコンテンツ作成のための材料を用意する（写真/資料など） 取材は教員が事前に実施

4. オリエンテーション

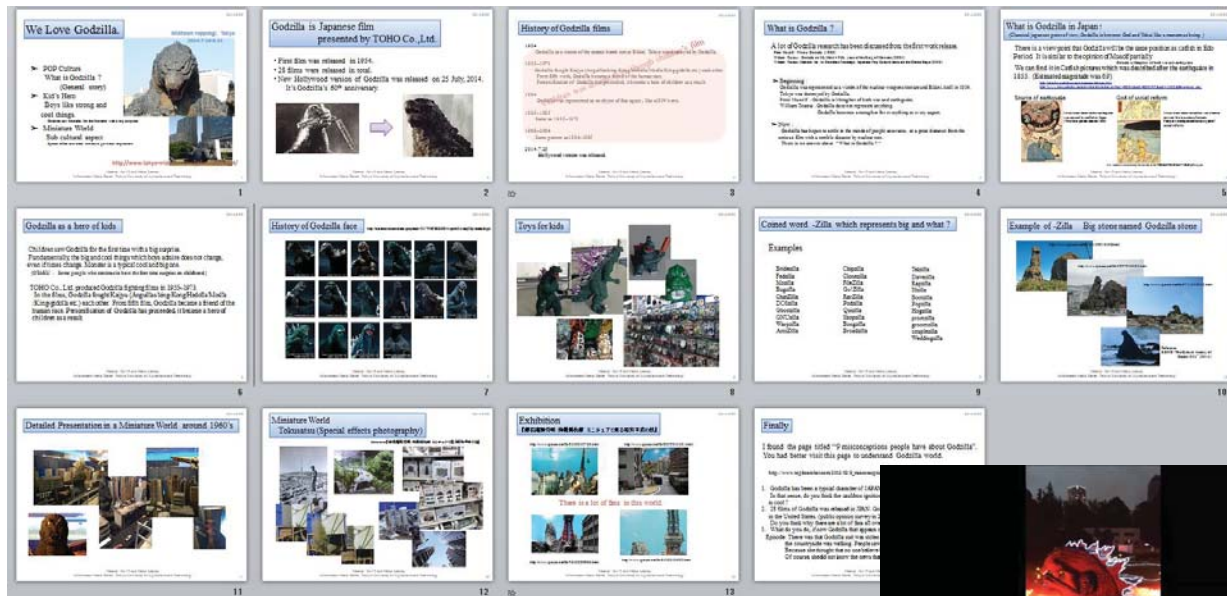
5. 提供した素材

5.1 Godzilla

Midtown roppongi，Tokyo
2014.7.18-8.31

We Love Godzilla.

- POP Culture
  What is Godzilla ?
  (General story)
- Kid's Hero
  Boys like strong and cool things.
  Children saw Godzilla for the first time with a big surprise.
- Miniature World
  Sub cultural aspect
  Special effect and detail miniature gave also impression.

http://www.tokyo-midtown.com/jp/summer/2014/

5.1 Godzilla

討論案

1. Godzilla has been a typical character of JAPAN.　In that sense, do you think the cauldron ignition of the 2020 Tokyo Olympics by Godzilla is cool ?
2. 28 films of Godzilla was released in JPAN. Godzilla is a third popular monster character in the United States. (public opinion survey in 2002.)　Do you think why there are a lot of fans all over the world ?
3. What do you do, if now Godzilla that appears outside the window ?

5.2 OMOTENASHI

5.2 OMOTENASHI

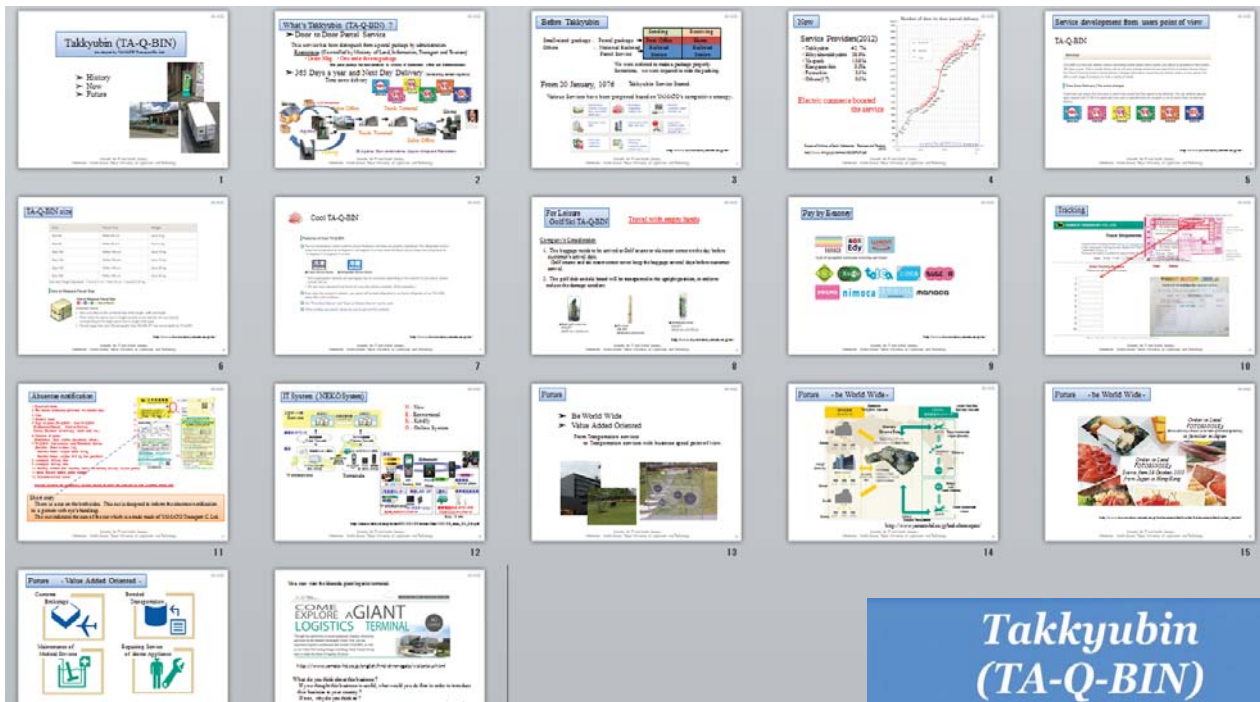
討論案

1. Does hospitality become hospitality for foreigner ? Is it self-satisfaction of japanese ?
   If so, do you have any opinion to improve it ?
2. Recently, I heard punctuality of the Japanese is stifling. In your country, do you think a company with japanese hospitality will succeed in business ?

5.3 TA-Q-BIN

Takkyubin (TA-Q-BIN)

developed by YAMATO Transport Co. Ltd.

- ➢ History
- ➢ Now
- ➢ Future

5.3 TA-Q-BIN

討論案

What do you think about this business ?

If you thought this business is useful, what would you do first in order to introduce this business to your country ?

If not, why do you think so ?

5.4 TSUKIJI Market

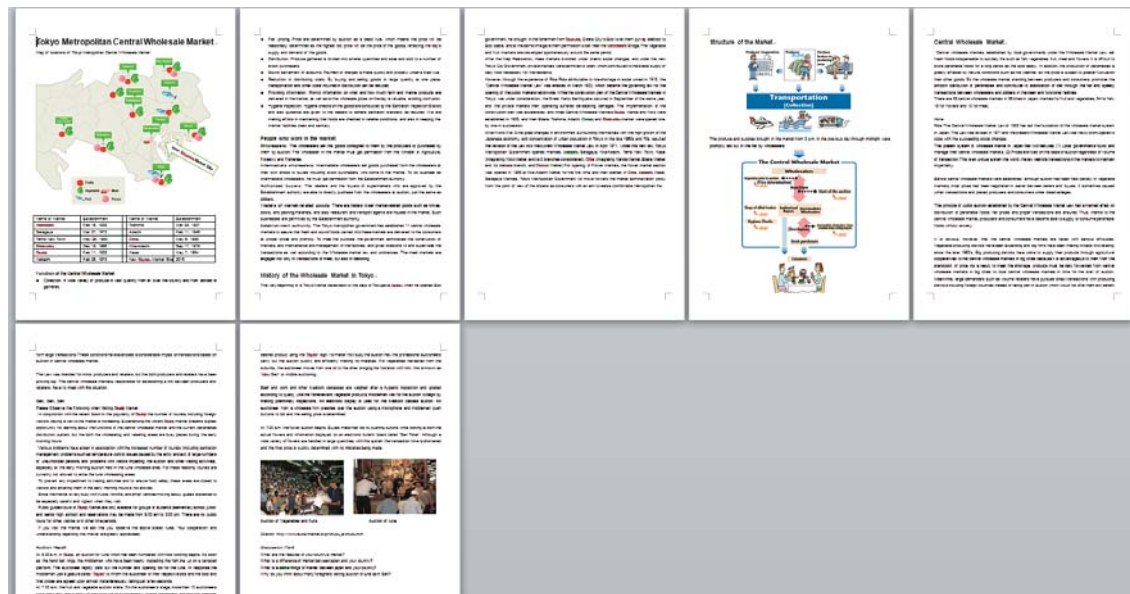
Tokyo Metropolitan Central Wholesale Market

Map of locations of Tokyo Metropolitan Central Wholesale Market

Name of Market	Establishment	Name of Market	Establishment
Yodobashi	Feb 16, 1939	Toshima	Mar 25, 1937
Setagaya	Mar 27, 1972	Adachi	Feb 11, 1946
Tama New Town	May 26, 1983	Ohta	May 6, 1989
Shokuniku	Dec 19, 1966	Kita-Adachi	Sep 17, 1979
Tsukiji	Feb 11, 1935	Kasai	May 7, 1984
Itabashi	Feb 28, 1972	New Toyosu Market Site	2015

- ➢ Function of Central Wholesales Market
- ➢ History
- ➢ Structure of Market

5.4 TSUKIJI Market

Tokyo Metropolitan Central Wholesale Market

討論案

1. What is a difference of market between japan and your country?
2. What is a same things of market between japan and your country?
3. Why do you think about many foreigners visiting auction of tuna as in Seri?

6. Workshop

東京農工大学総合情報メディアセンター

7. 授業前アンケート (1)

1. どのようなICT機器を持っていますか？	
a. Laptop PC(Windows)	15
b. Desktop PC(Windows)	3
c.Mac Book (Apple)	1
d.iMAC (Apple)	0
e. Android Tablet	1
f. Apple iPad/iPad mini	1
g. Android Smartphone	13
h. Apple iPhone	2
i. Other	1
j. None	0

2.最近、コンピュータを使ったのはいつですか？	
A)3カ月～1年以内	16
B)3カ月以内	0
C)1年以上前	1
D)使ったことがない	0

3.過去3カ月、どのくらいの頻度でコンピュータを使いましたか？	
A)毎日またはほぼ毎日	14
B)週に数回程度（毎日は使わない）	2
C)月に数回程度(週に一回は使わない）	0
D)1カ月以上使っていない	0
未回答	1

➢ ほとんどの受講生スマートデバイスやPCに慣れ親しんでいる

7. 授業前アンケート (2)

4.「ICT Literacy」に何を期待しますか？

・ICTデバイスの探究、ICTに関する知識など。
・情報発信の利用のためのICTリテラシーについて理解することを期待しています。
・上手に使えるようになること。
・日本のICTに関する知識をえることができる楽しい授業。
・日本人からの技術のアドバイスを期待している。
・自分の技術のスキルを向上することを期待している。
・日本の人たちのICT利用実態を図示してほしい。
・日本で使われているメディアについて知りたい。そして、自分のICTの知識を深めたい。
・ICTデバイスを使用して、コンテンツを作成するスキルとソフトのスキルを向上させること。
・日本のコンピュータサイエンスを学ぶこと。
・いいプレゼンテーションを作る技術について知りたい。
・プログラミングやビデオ編集について知りたい。
・テクノロジーコミュニケーションやMSエクスペリエンスについて学び、その知識を他の人と共有したい。
・ICTリテラシーから、いいプレゼンテーションの作り方を学べることを期待している。
・最新のインターネットのテクノロジーを学ぶこと、新しいコンテンツについてまなぶことを期待している。
・ICTリテラシーから情報メディアの技術や、情報を与える方法について多くを学べること期待している。
・ショートカットツールや、ファンクションキーボードについて学ぶこと。

5. 今までコンピュータやモバイルデバイス上で、ビデオ編集を使用したことがありますか？(コンピュータやモバイルデバイスを使用している場合)	
はい	12
いいえ	5
ムービーメーカー	5
sony vegas	2
imovie	1
その他	2

➢ ビデオ編集についても経験者が多い

8. Presentations

自国と日本の違い

習慣的違い

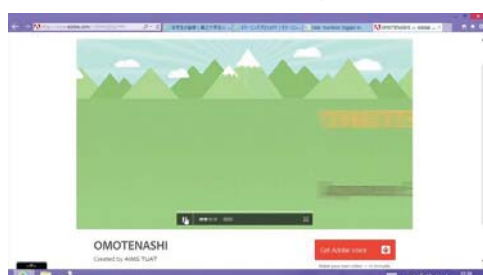
地理的違いからの差

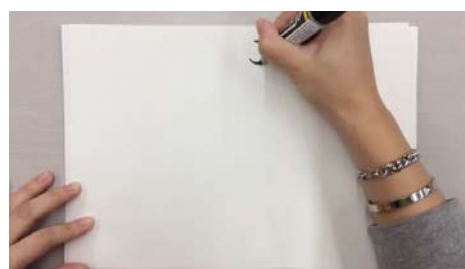
習慣的違い

アニメに見る違い

8. Presentations

日本のOMOTENASHI

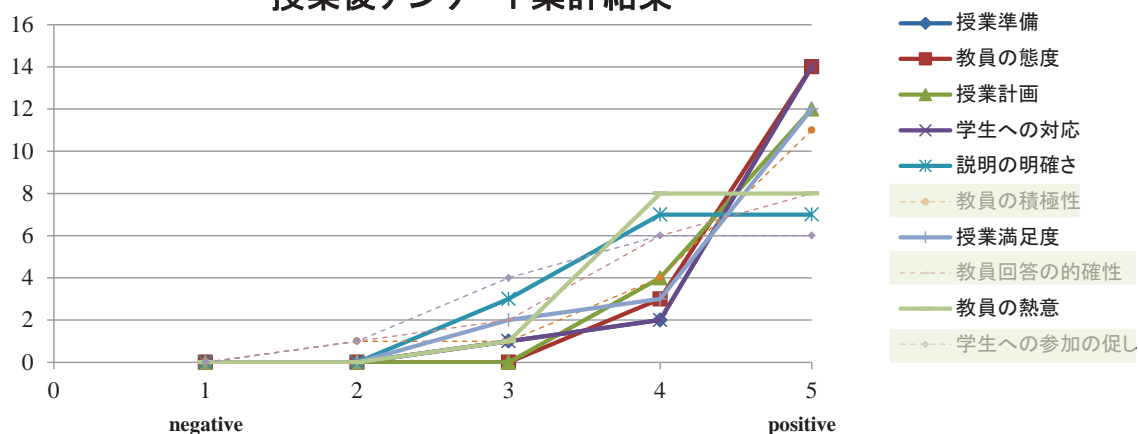
驚きと感激

Godzilla

Godzillaに出会ったら

9. Wrap-up

WrapUp Video

http://voice.adobe.com/v/5rLyZVtxCjZ

10. 授業終了時アンケート (1)

評価は以下の5段階とします。 1.negative → 5. positive						
1.授業についてどうでしたか？	1	2	3	4	5	blank
①教員は授業の準備をしていた。	0	0	1	2	14	0
②教員はきちんとしていた。	0	0	0	3	14	0
③教員は学生が主導的に活動できるよう授業を計画した。教員は授業を有意義になるよう活動した。	0	0	0	4	12	1
④教員は学生の要望に柔軟に対応した。	0	0	1	2	14	0
⑤教員は要点を的確に説明した。	0	0	3	7	7	0
⑥教員は積極的に学習できるようにした。	0	1	1	4	11	0
⑦自分はこの科目で多くのことを学んだ。	0	0	2	3	12	0
⑧教員は問題に対し適切な回答をした。	0	1	2	6	8	0
⑨教員は授業に熱意をもっていた。	0	0	1	8	8	0
⑩教員は学生に対して、積極的に活動するよう促した。	0	1	4	6	6	0

- 概ね授業には興味持って参加してくれた
- 教員の授業参加への促しやアドバイスの不足が指摘されている

10. 授業終了時アンケート (2)

2.教員のよかったところはなんですか？

・勉強に必要な準備をよくしてくれた。
・情報が明確であった。
・準備と説明がよかった。
・インターネットの知識を与えてくれた。
・私の質問にとても親切に答えてくれた。
・先生たちはとても楽しい授業にしてくれた。そして、私たちに創造させてくれた。
・先生は良いプレゼンテーションを作るためによく説明してくれた。
・学生に対してとても親切だった。そしてきちんと説明し、常に楽しませてくれた。
・最初にプレゼンテーションの例をみせてくれたこと。
・親切に私たちのリクエストに応えてくれた。
・授業で発表する機会を与えてくれた。
・講義
・時間通りだったこと。計画をもって授業を楽しませてくれた。
・時間厳守だったこと。プレゼンテーションの例をみせてくれたこと。
・質問や活動する時間、説明する時間があり、よく構成された授業だった。
・先生は日本について興味深いことを教えてくれた。先生は私たちを「おもてなし」してくれた。
・とてもいい先生だと思った。だけどもう少し対話ができるとよかった。

- ➢ 授業準備・進行等に関しては好評
- ➢ 対話機会が少ないことが指摘されている

10. 授業終了時アンケート (3)

3.改善点はありますか？

・講義の中で相互に話す機会がほしかった。
・授業の時間を長くしてほしい。
・より具体的な目標を示してほしい。
・授業の時間がもう少し長いと、より知識を得ることができると思った。
・プレゼンテーションの際、もう少し時間が提供されたらと思った。
・授業の開始時間を少し遅くしてほしい。
・いいプレゼンテーションを作るためには、いいソフトウエアが必要。
・私たちが使ったソフトウエアはもっと説明が必要だった。説明があればよりソフトウエアを使うことができたと思う。
・学生の積極性を引き出すこと。
・コミュニケーション
・より多くの活動を促すこと。
・国籍の違う学生でのグルーピング。
・ありません。この授業は素晴らしかった。
・資料を読むだけではなく、もっと対話があったほうがいい。（スライドベースにならないよう）
・説明方法について、より興味をもたせる必要があった。
・すべての先生たちに流暢な英語を使って説明してほしい。
・生徒たちがお互いに説明しあう必要があった。

- ➢ 学生との対話を積極的に教員側から行うことが期待されている
- ➢ 国籍の違う学生によるグルーピング
- ➢ 時間不足が指摘されている

10. 授業終了時アンケート(4)

4.あなた達のグループが作ったビデオをどう評価しますか？

・改善点はあるが、限られた時間の中でとてもよくできた。
・短い時間で作ったわりには、素晴らしいと思う。
・入力不足だった。もっと情報が必要だと思った。
・私たちのビデオはあまりいい出来だと思わなかった。もっとスキルを向上しなければならない。
・まだ途中で、完璧ではなかったけど、とても素晴らしいと思った。
・自分たちのビデオは気に入っています。だけど、もう少しストーリーを持たせたかった。
・音をもっとよくしたい。
・バックサウンドは修正したほうがいいが、構成と効果はよくできたと思った。
・音を修正したい。
・経験に基づいた。
・すごい
・面白かった。理解しやすかった。
・私たちのグループのビデオはいくつかの間違いがあり十分ではなかったけど、初めてにしてはよくできたと思う。
・もっと情報を用いて作る必要があった。そしてみんながはっきりと聞くことができるようオーディオを管理する必要があった。
・シンプルにできた。私は人々が日本とインドネシアに訪ねてくることができることを願って作りました。
・十分な時間がなかったので、私たちが作ったビデオは短くてシンプルだと思った。
・私たちのグループのビデオはよかった。だけど、インドネシアと日本を比較するにはまだ十分ではなかった。

- ➢ 短時間内での活動に満足
- ➢ 時間不足（取材などによる材料集め時間不足）

10. 授業終了時アンケート(5)

5.あなたは、このクラスで学ぶことができましたか？

・はい。
・はい。
・iPADでvoiceアプリケーションを使うことや、日本のゴジラとおもてなしの歴史について学ぶことができた。
・もちろん。私はこのクラスで多くのインターネットの技術を学んだ。日本の顧客サービスは完璧なプレゼンテーションをつくることも学んだ。
・初めてビデオの作り方を学び、とても気に入りました。ありがとうございました。
・私はソニーのベガスを使っていたけど、他のアプリケーションを使うことができるようになった。
・はい！私は新しい技術といいプレゼンテーションをつくるということを学んだ。
・はい。学ぶことができました。
・はい。
・楽しくビデオをつくれました。
・はい。
・はい。
・はい。簡単に理解でき、授業は素晴らしかった。
・いいえ。私には新しすぎた。
・はい。私はこの授業の課題から多くのことを学びました。
・はい。iPADを使ってビデオを作ることができた。楽しく多くのことを学んだ。
・はい。ITCリテラシーの授業で学ぶことができました。

- ➢ 授業の満足度は高い

10. 授業終了時アンケート (6)

6.この授業に関するコメントや印象はありますか？
・講義で学生との対話を増やす改善点があると思う。
・より簡単にコンピュータを使ってビデオを編集することができるようなった。
・この授業で日本について学ぶことができてうれしく思った。
・このクラスのすべての先生に感謝します。私は新しい知識を得ることができました。特に、インターネットの知識を得ることができました。
・楽しかった！
・この授業はとても楽しかった。自分たちで考え創造することができとても楽しかった。
・とても楽しかった！
・とても素晴らしい授業でした。またこの授業を学びたい。
・課題はより興味がもてるものにする必要がある。
・とても楽しかった。学生はラップトップPCを使う必要があるけど、個人的にはIpadを使いたくなった。
・とても楽しかった。
・テクノロジーはとても印象的だった。
・とても楽しい授業でした。
・とても楽しい授業だったが、トピックが広すぎた。
・課題はより興味のあるものにしたほうがいい。
・iPADを使ってシンプルなムービーが簡単に作れることに感動した。この授業ではICTが重要であることを知ることができた。
・この授業で学び始めてショートムービーを作った。とても感銘しました。

10. 授業終了時アンケートから

肯定的
- 授業準備・進行等に関しては好評
- 授業の満足度は高い
- 短時間内での活動に満足

改善点
- 学生との対話を積極的に教員側から行うことが期待されている
- 時間不足 （取材などによる材料集め時間不足）
- 国籍の違う学生によるグルーピング

反省点
- 日本国内における著作権法などの基本を授業に取り入れる必要がある
- 時間不足を補う手段の準備
  - ・今年度授業内容の事前公開
  - ・授業テーマの事前公開
  - ・ツールの有効活用法の事前公開

END

図書館における情報リテラシー教育

東京農工大学図書館小金井図書館
情報サービス係
大関　玲子

はじめに
新入生
文献の探し方
DB講習会
留学生

1．はじめに

東京農工大学図書館の情報リテラシー教育

蔵書検索・データベースの講習会を定期的に開催

事例報告

はじめに
新入生
文献の探し方
DB講習会
留学生

1．はじめに

PCを使った演習形式

講習会の実績（H.26年度）　東京農工大学小金井図書館

時期	名称	対象者	内容
4月	新入生オリエンテーション	新入生 3年次編入生	● 図書館の利用 ● 農工大OPAC ● My Library ● 館内ツアー
新入生終了後	文献の探し方オリエンテーション	4年生・M1・D1 情報検索に興味のある学生・教職員	● CiNii Books ● eBook, EJ ● JDreamⅢ ● CiNii Articles
6月	SciFinderデータベース講習会	化学系の 学生・教職員	● SciFinder
10月	留学生オリエンテーション	AIMS留学生	● My Library ● Web of Science ● 館内ツアー

はじめに
新入生
文献の探し方
DB講習会
留学生

2．新入生オリエンテーション

概要	4月「工学基礎実験」〈4月2週～3週目〉 学科単位で実施 図書館の利用方法・蔵書検索等を説明 / 館内ツアー
対象者	新入生・3年次編入生 （1クラス30～最大60名）
実績（H.26）	実施回数　12回 （工学部 8学科）　※1コマ 90分
	受講者数 549名 （出席率 99．3%） ※必修
担当者	スライド説明（講師）　ー 常勤職員4名（交代）
	館内ツアースタッフ　ー 学生アルバイト2～3名

開催時期の遅いクラス

もう少し早く受けたかった・・・

新入生スライド
（演習問題）

農工大OPACを実際に使ってみる

Q1. 次の本は何冊ありますか？

タイトル	：	図解でわかるはじめての材料力学
著者名	：	有光隆
出版事項	：	技術評論社　　1999年3月

A1. ______________________________

Q2. 授業の課題でレポートの提出が出ました。
書き方について、参考になる図書を探してください。

A2. 実際に検索してみます。

6

農工大OPACの検索例

新入生スライド（画面説明）

東京農工大学図書館OPAC WWW検索サービス

簡易検索 | 詳細検索 | 新着図書 | 新着雑誌 | AV資料一覧 | 雑誌一覧 | 貸出ランキング | MyLibraryログイン | MyLibrary(認証外)

図書詳細情報

このページのURL [8 / 27] 一覧に戻る 前を表示 次を表示

これからはじめる人のためのバイオ実験基本ガイド / 武村政春編著；杉村和人, 園田雅俊, 村雲芳樹著

タイトルのヨミ：コレカラ ハジメル ヒト ノ タメ ノ バイオ ジッケン キホン ガイド
出版事項：東京 ： 講談社 , 2010.12
ISBN：9784061538801
著者標目形：武村, 政春(1969-) || タケムラ, マサハル <DA14916407>
杉村, 和人 || スギムラ, カズト
園田, 雅俊 || ソノダ, マサトシ
村雲, 芳樹 || ムラクモ, ヨシキ <DA15932034>
書誌ID：BB0416868X

詳細表示

詳細の確認

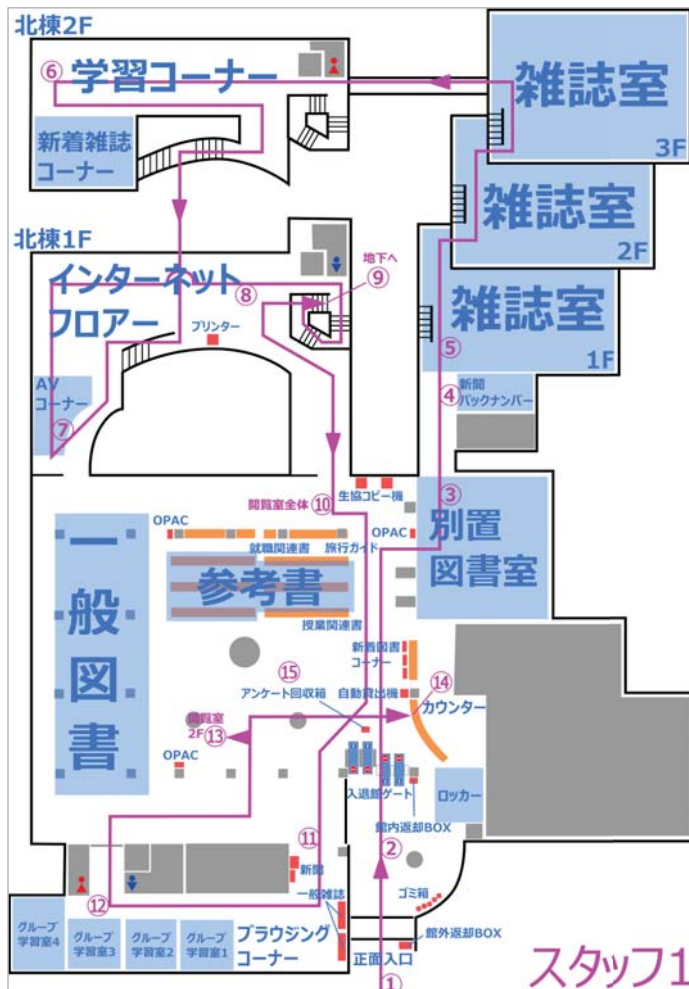
同じ検索条件で下記のサイトからも検索できます。
Webcat Plus 検索 CiNii Books を検索

所蔵情報

貸出可能かどうか

巻号	所在	請求記号	図書ID	資料状態(予約数) 返却予定日	予約・取寄
	府中・仮設図書館一般書	464.1	10675601	貸出可	予約・取寄
	小金井・閲覧室一般書	464.1	60734382	貸出中 2014/04/09	予約・取寄(認証外)

どこに、何冊あるか　書架のどこを探せばいいか　予約・取り寄せの申込み

はじめに
新入生
文献の探し方
DB講習会
留学生

館内ツアー

- 館内各部屋を案内
- 電動書架の使い方
- 自動貸出機の操作

混雑緩和のため
グループごとに
巡回路を変える

はじめに
新入生
文献の探し方
DB講習会
留学生

3．文献の探し方オリエンテーション

概要	4月（新入生オリ終了の翌週）～5月第2週 図書館のインターネットフロアで開催．事前申込制 1コマ　90分（午前・午後　各1回） HPで周知．各研究室宛にチラシ申込書を配布
使用DB ツール	・農工大OPAC　・CiNii Books ・NDL-OPAC ・A to Z ・eBook ・JDreamⅢ　・CiNii Articles
対象者	主に4年生・他大学から農工大に入学したM1・D1 ほか情報検索に興味のある学生・教職員
実績（H.26）	実施回数　21回 受講者数　177名
担当者	日程調整・スライド作成 ― 情報サービス係職員 スライド説明（講師）　―　常勤職員4名（交代で）

HPでスライド公開中
http://www.biblio.tuat.ac.jp/retrieval/

図書・雑誌を探す

文献の探し方スライド
（蔵書検索）

蔵書検索

OPACで、図書・雑誌が図書館にあるか探す。

OPACの例

- •東京農工大学 → •農工大OPAC
- •他大学まとめて → •CiNii Books
- •国立国会図書館 → •NDL-OPAC
- •海外の図書館 → •BLやLCのOPAC　など

【 雑誌を検索するときの**注意点** 】

OPACは論文のタイトルや著者名、出版年では検索できません。
必ず雑誌のタイトルで検索してください。

農工大OPAC

文献の探し方スライド
（演習問題）

雑誌を検索

Question

雑誌『 Tetrahedron Letters 』
の以下の号はどこにありますか？

①1969年　②36巻2号　③47巻5号

Technique

前方一致検索

「 lett 」で検索　⇒　letter, letters, lettuce などがヒット

JDreamⅢ

文献の探し方スライド
（演習問題）

Question

① 2006年以降に発表された、発光生物に関する日本語の論文は何件ありますか。
その内、クラゲに関する論文は何件でしょうか。

Point	言語の条件指定は【**簡易検索画面**】を使う

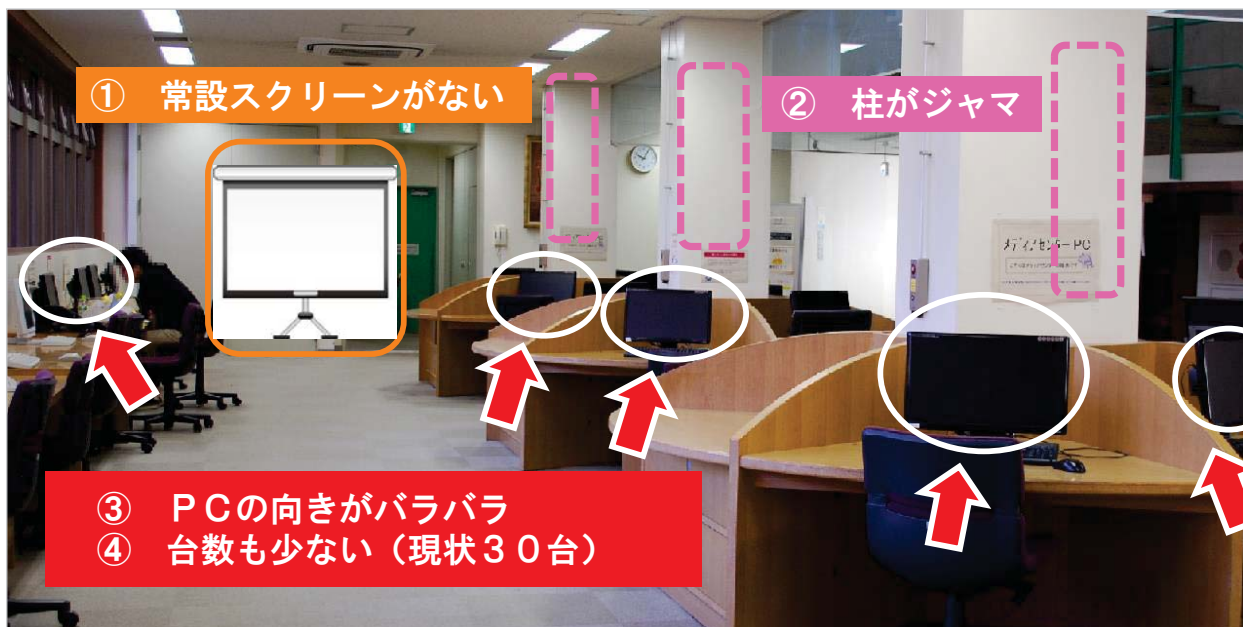
---

② 1981年以降に、Martin Chalfie さんが発表した論文は何件ありますか？　また、2007年発表の論文について入手方法を確認してください。

はじめに
新入生
文献の探し方
DB講習会
留学生

3．文献の探し方オリエンテーション

図書館のPCルームが講習会向きでない

はじめに
新入生
文献の探し方
DB講習会
留学生

4．SciFinderデータベース講習会

概要	6月に実施。化学情報協会より講師を招く （90分）
対象者	化学分野の学生・教職員
場所	メディアセンターPC教室
実績（H.26）	受講者数 43名 （昨年比 ＋30）

開催時期を6月に早めたら
受講者数が大幅に増加

もっと早めれば・・・もっと増えるかも？

はじめに
新入生
文献の探し方
DB講習会
留学生

5．留学生オリエンテーション

概要	館内ツアー　　　　　　1回　45分 文献の探し方講習会　　1回　90分 ※今年度（H.26）から実施
対象者	AIMS（文科省の世界展開力強化事業プログラム） 交換留学生
場所	図書館
実績 （H.26）	受講者数　13名　（工学部所属者のみ）
担当者	情報サービス係職員　＋　国際センター教員（通訳）

今後の課題

英語版スライドの作成　（教員と連携）

END

ご静聴いただき
ありがとうございました

東京農工大学 府 中 図 書 館
耐 震 改 修 工 事に伴う
ラーニング コモンズ等の設置状況

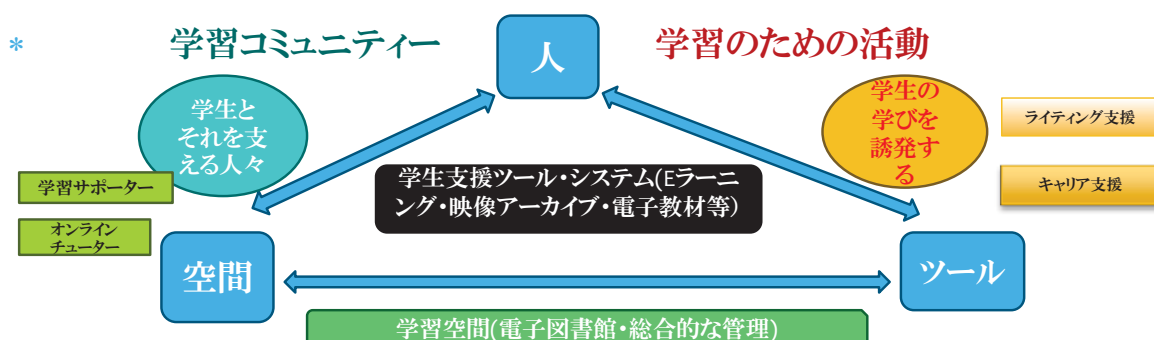
東京農工大学　学術情報課長
青　木　教　明

改修前・後の府中図書館　外観

ラーニングコモンズのコンセプト

* **図書館における対話による学びサイクルの構築**
* ⇩
* 社会情勢や学習環境の変化に伴う「研究」から「学習」へ

情報獲得	交流する	表現する	考える・まとめる	学習支援
好奇心を持って情報を獲得する。見る。聞く。調べる。読む。気づく。	人と人が交わり、意見交換し、刺激しあう。話す。見る。見られる。	アイデアを出す。データ化する。発表する。自分の考えを持つ。	より深く考え、整理し、まとめる。体系化する。情報化する。組み立てる。	学習を支援する。

* 図書館における学びのサイクルで学びがより円滑になり学ぶ力が向上する。
* **図書館を支える新たな要素**
* 「人×空間×ツール」の3つの要素を導入強化し、相互に関連性を持って計画されることにより図書館での学習活動が相乗的に向上。
*

耐震改修のコンセプト

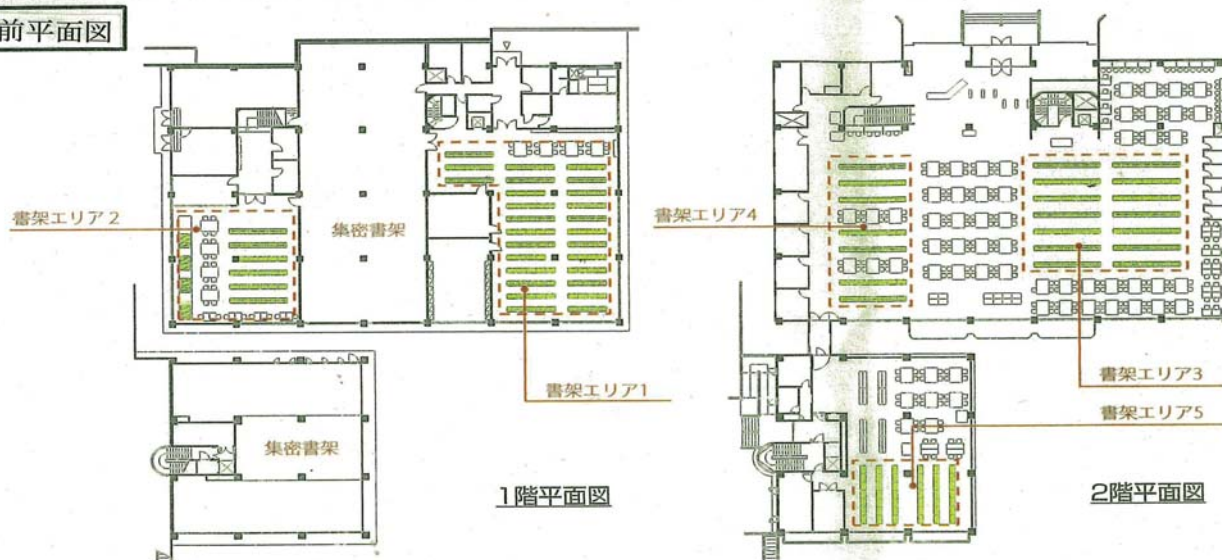
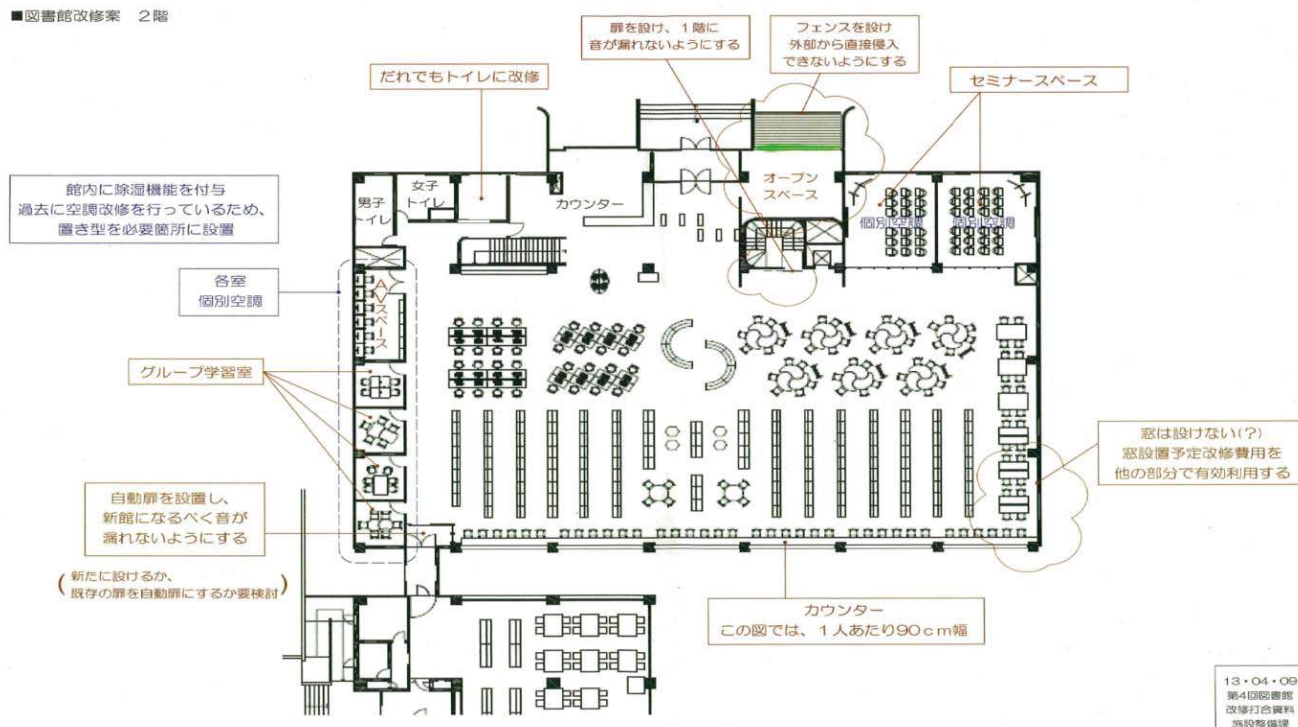
* ラーニング・コモンズを設置して、利用者相互のコミュニケーションを高め、学習教育支援環境や共同的な学びを促進。
* 学習室を防音とすることで、他の図書館利用者に気兼ねなくグループワークが可能。
* 個席を設置することにより、集中して個人で学習、研究、読書ができる滞在型の利用が可能。
* 2階は自由に議論しながら研究・学習する「コモンズエリア」。
* 1階は集中して静かに研究・学習する「静寂エリア」。

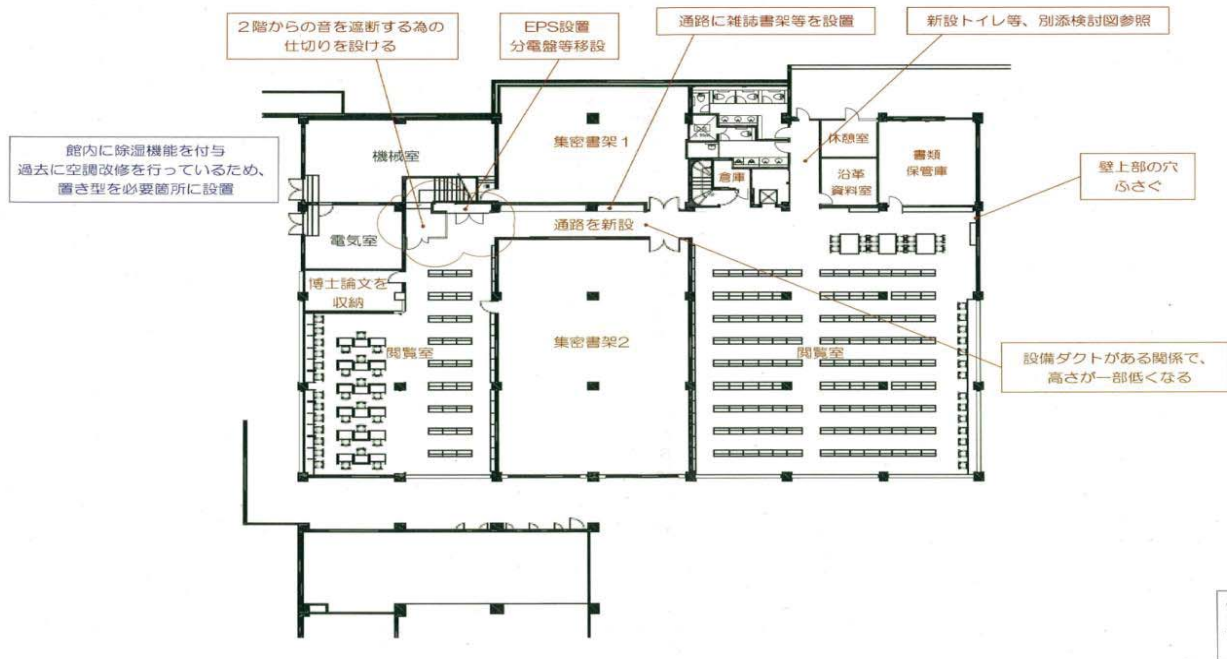
改修工事に伴い施設整備課に依頼したこと

* 1. 工事予算で、窓際に個席を作ってほしい。（改修前は4人掛け机のみで、1人が独占していることが多かった）
* 2. 窓ガラスをペアガラス（窒素ガス入り）にしたい。（約20％のCO_2削減につながり、冷暖房の効率が良くなる。）
* 3. 無線ランを各フロアに通じるようにしたい。
* 4. EPS及び分電盤は別室でひとまとめにしたい。
* 5. ラーニングコモンズはタイルカーペットにしたい。

改修工事に伴い施設整備課に依頼したこと

* 6. 1階トイレを使用可能にしたい。（職員の目が届かなかった。監視カメラ増設）
* 7. 2階「身障者トイレ」は「だれでもトイレ」に。また「オストメイト」を設置し、ドアも防音タイプにしたい。
* 8. ライトはLEDにしたい。（天井が高いので蛍光灯を交換する場合、工費が高額。また、電気代が安くなる）

改修前の図面

改修後の図面（2階）

改修後の図面（1階）

改修前・後（2階南面の4人掛けを個席に）

改修前・後（2階東面を広く）

改修前・後（2階PC及び閲覧席をセミナースペースに）

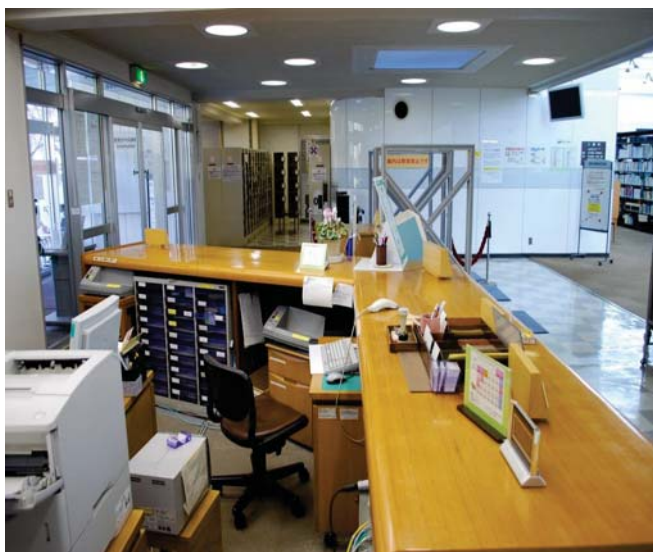
改修前・後（2階の個室を撤去し4人掛に）

改修前・後（2階の学習室を防音・ガラス張りに）

改修前・後（2階の学習室内。黒板をホワイトボードに。無線ランを使用可能に）

改修前・後（1階閲覧室入口）

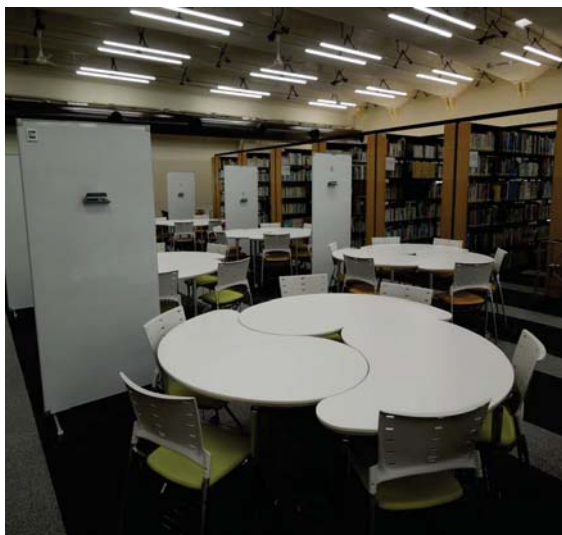
改修前・後（2階ロッカー室をリフレッシュスペースに）

改修前・後（2階受付カウンター）

主な新設

玄関東にテラスを新設

1階に通路を新設（第2閲覧室と第3閲覧室間）

主な新設

可動式の机・ホワイトボード
（7組・42脚）

PCスペース（32台）

主な新設

LEDとファン

AVスペース

主な新設

個　席（1階・2階に新設）

表　示

主な新設

館内図（1階）

館内図（2階）